

交換留学報告書

派遣先	
三重大大学での所属学部・研究科	人文学部文化学科
学年(出発時)	3年
大学名	ルール大学ボーフム
国	ドイツ
留学期間	2017年3月14日～2018年2月14日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	
	授業
9:00	
	授業
10:00	
	授業
11:00	
	授業
12:00	
	授業
13:00	
	昼食
14:00	
15:00	
	タンDEM
16:00	
	タンDEM
17:00	
	買い物
18:00	
	夕食
19:00	
	友人と過ごす
20:00	
21:00	
	自習
22:00	
	自習
23:00	
	就寝
0:00	

履修科目				
科目名	時間数/週	履修単位	使用言語	業内容(レポート、試験、授業形態)
ドイツ語準備コース	12	1	ドイツ語	聴講
ドイツ語A1	16		ドイツ語	試験
ドイツ語A2	16		ドイツ語	試験
ドイツ語B1	16		ドイツ語	試験
ドイツ語DaF	4	4	ドイツ語	試験
ビデオプログラム	2	-	ドイツ語	プレゼン
メディア論	2		ドイツ語	聴講

大学のサポート	
チューターの有無	有
チューターのサポート内容	住民登録、ビザ取得、保険加入、銀行口座開設の補助
語学コースの有無	有
コース名、料金、期間等	DaF、無料、通年

生活	
住居のタイプ	寮
住居の名前	Querenburger Höhe 99
部屋タイプ	一人部屋
ルームメイト(国籍)	無
室内設備	勉強机、本棚、クローゼット、暖房、シャワー、トイレ、キッチン、冷蔵庫
共用施設	コインランドリー、自習室、ジム、バー
インターネット設備	有(ルーターは自費で購入)
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	徒歩10分
アルバイトの有無	無
アルバイトの内容	無

渡航	
Visaの種類	学生ビザ
Visa申請先	外国人局
Visa取得にかかった日数	1ヶ月
Visa取得にかかった費用	100ユーロ
Visa取得方法、提出書類等	住民票、保険の証明書、貯金残高の証明書
留学先大学の最寄り空港までの経路	DB(ドイツ国鉄)のREで30分
渡航費用	往復約10万
ピックアップサービスの有無	有

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	無
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	3月
帰国後の進路	就職

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ユーロ＝130円くらい
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	90ユーロ/月
学費(教科書代や語学コース授業料等)	教科書代14ユーロ、語学学校280ユーロ/3ヶ月
宿舍費(月額)	280ユーロ 光熱費込
光熱費(月額)	
食費(月額)	70ユーロ
その他	
留学期間中にかかった費用の合計	120万

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

文法は大学の授業で一通り習っていたが、ドイツ語力に不安を感じていたためA1から始め、最終的にB2までいった。授業では、文法だけでなく、リーディング、ライティング、そして最も苦手とするリスニングの試験もあったため、文法に偏りがちな日本人には最適なプログラムだった。授業では、間違いを恐れずたくさん発言するように先生から何度も指摘を受けた。当初は自身のドイツ語力に自信が持てず、消極的な態度で授業に参加することが多かったが、このままではここで授業を受けている意味が無くなってしまうと心を改め、授業内のディスカッションにも積極的に参加するようになったところ、先生からも褒めてもらえるようになり、それが自信につながってさらに積極的に話せるようになった。授業中の議論では他の学生と意見が対立することもあり彼らの気迫に怖気づいてしまうこともあったが、回を重ねるにつれ彼らに負けずに意見を主張できるようになっていったことは大きな成長だった。また、スピーキング力を高めるにはタンデムが最適だった。タンデムパートナーにはドイツ語だけではなく、生活面でもたくさん助けてもらった。私は三重大で国際交流サークルに所属しており、留学生が日本文化に親しむイベントを企画し実行する活動をしていた。そのような活動をボーフム大学で引き続き行うことも、留学での目標の一つだった。そのため、着物を日本から持参して、希望者に着付けをしてあげたり、お好み焼き・親子丼・手巻き寿司などの日本食と一緒に作って食べるパーティーも頻繁に開催した。ドイツの家庭で休暇を過ごしてみたいと思っていたため、長期休暇や正月には友人のご家族の家でお世話になった。年越しでは、シャンパンで乾杯したりご近所の方も交えて花火を打ち上げたりなど、ドイツ流のお正月を経験することができて良い思い出になった。ご家族の方たちも本当に親切にしてくださって、帰国の際には空港まで見送りに来てくれたりと最後の最後までお世話になった。ドイツは冬が長いため、秋以降は気分が沈みがちになり体調不良に悩まされることが多かった。12月ごろには38度を超える高熱が続き3日間の検査入院も経験した。授業を休むことで不安もあったが、親切なクラスメートのサポートに助けられ試験期間も乗り切った。

今後留学する人へのアドバイス

たくさん失敗することもあると思うが、それが普通である。失敗しても許される範囲でどんどん失敗して経験値を高めていってほしい。また、留学中は日本人とつるみすぎるのも良くないが極端に避けるのも良くない。自分が体調不良などで動けなくなった時、結局頼れるのは日本人という場合もある。